

なんか

やってま〜す

～福祉委員情報紙～

ナンバー 002

発行 平成21年7月31日

発行元 坂井市社会福祉協議会

坂井市社協福祉委員幹事会

ある日の様子

福祉委員の相互協力で、いきいきサロン実施地区を増やしていきたいと、サロン活動経験のある福祉委員が、初めてサロンを開催する地区の福祉委員の手伝いをしたり、その後も継続してスタッフを派遣し、サロン運営の活性化を図っています。お茶菓子を食べながらの簡単な茶話会から、年に数回の食事会を設けてのサロンまで企画しています（布ぞうりやエプロン手拭い作りなど）。いろんな企画もそれぞれの区独自で楽しみができるように考え、また活動が活発になるように努力しています。

※ 布ぞうり織り機 20 台貸出しできます。

TEL. 66-4422 高椋東部公民館まで



高椋東部地区福祉委員会・・・坂井市南東、たかとり山から太陽が出ずる高向振姫の里にあり、平成9年に誕生した委員会で、17地区30名の福祉委員がいます。これまでに10地区がサロンをとおしての見守り活動を実施しています。

福祉委員 田嶋京美（春江町）さんに

聞いてきたぞ～

中筋区ふれあいサロンとして年4回、自治会長や女性の会の協力を得て無事続けることができている。“どんなことしょ～！！”と話合ったり、体験してみたりまた、下準備したりと大変ですが、参加者の方々の笑い声や、“たのしかったわ～。”“おいしかったわ～。”“次はいつやの～。”の声に疲れも吹っ飛び、お世話のできる喜びが沸いてきます。これからもいろんなことをサロンに取り入れながら続けていけますように。

ここで一言

福祉委員活動を通して私ができることとしては、地域社会への見守り活動が重要なことではないかと思えます。

私たちは自治会長、民生委員、公民館等さまざまな人々に囲まれており、いろんな相談にすぐに取り組んでくれ、自分が福祉委員活動をするうえで大きな支えとなっています。

(五十嵐暉雄)

オレオレ詐欺対策 “家族みんなの合い言葉” 1つ2つ考えておきましょう！！

いってみよう!

《キーワード》 最初の一步

4月24日(金)坂井市多目的研修集会施設にて、平成21年度新任福祉委員基礎研修会が行われました。約90人が参加し、福祉委員活動の役割や活動実践を学びました。参加した福祉委員の方々は熱心に耳を傾けていました。

福祉委員になったけど、どんなことをすればいいの?

日常生活の中で、例えば区域内の独り暮らしのお年寄りが閉じこもりがちになってることが気になっていませんか。そんな時、自治会長さんや民生委員さん、また社協などに伝えていくといいと思いますよ。

(地域のアンテナ役)

また、生活に役立つ福祉の情報などを得て地域の方に伝えたり、民生委員児童委員さんと相談して、必要とされている方にお知らせしたり、利用の後押しをしてくれる存在として必要とされているんですよ。

(地域のお知らせ役)

とても大切な役だと思うけど、私にできるかしら? 他の人はどうしているのですか?

各地区には福祉委員会があり、同じように初めて福祉委員になって不安に思っている方と交流したり、福祉委員経験の豊かな先輩の話や助言をもらえたりできるんですよ。また、今回のように研修会もあります。

最初は戸惑うと思いますがとにかく気になることがあったら、窓口となる社協に行ってみたり、電話で相談していきましょう。

社協情報

掲載等のお問い合わせは

みくに支部	Tel	82-1170
	Fax	82-1593
まるおか支部	Tel	68-5060
	Fax	67-2950
はるえ支部	Tel	51-4545
	Fax	51-6269
さかい支部	Tel	67-0640
	Fax	67-2807

福祉委員のみなさんに、ホットで旬な情報を発信する「なんかやってみよう」をお届けします。

子どもとの会話。“これくらいならポイ捨てしてもいいだろう。”と一人のひとがゴミを捨てました。みんなが同じように思ったらあっという間に地球はゴミだらけになっちゃうね。でも、その反対だったら…すごいね!

小さなことをどう行動に移すのかとても大切な選択ですね。

素朴な疑問や心温まる出来事を、どんどんお寄せください。

次号は11月発行予定です。